



～地域で子どもたちの豊かな成長を支える町、鱒ヶ沢～

鱒コミ

R3 CS通信No.3



《子どもたちの心に残る行事が次々と！》

新年度がスタートして早一ヶ月、各学校ではコロナ感染対策をしながら、日々の教育活動、学校行事に取り組んでいます。中学校では延期されていた修学旅行(3年生)が、下北方面を中心に5/19～21の2泊3日の日程で行われました。生徒たちは、県内でも普段中々行く機会がない「下北」ということで、見学や体験を通して、改めて青森県の良さを理解したようです。天候にも恵まれ、自身の見聞を広める上でもとても有意義な旅行になったということです。



舞戸小学校では6月5日の運動会に向け、恒例の全校で踊る「鱒ヶ沢甚句」の練習のため、町内の甚句保存会のみなさんを学校に招き指導をしてもらいました。中でもこの踊りに初めて触れる1年生にとっては、曲を聴くのも踊りを見るのも初めてということで、最初はキョトンとしていましたが、保存会の方々の懇切丁寧な指導のもと、見様見真似ですが、少しずつそれなりの動きになってきたのにはびっくりしました。本番での1年生の可愛い姿、早く見てみたいですね。



西海小学校では5月22日(土)に、今にも降りそうな曇り空の中、令和3年度大運動会が実施されました。精一杯、競技や演技をする子どもたちの姿に、保護者のみなさんも地域の方々も一緒になって声援を送っていました。子どもたちの真剣な眼差しと素敵な笑顔に大きな拍手です。いい思い出作りにつながったようで良かったですね。



日々変わるコロナ感染の状況を踏まえ、各学校では感染防止と行事内容を精選しながらも「子どもたちに心に残る行事を」という考えで実践されています。これからもPTA活動とともに、地域学校協働活動、そして、コミュニティ・スクール事業を進めていく上でも、コンセプトである「地域とともにある学校」を地域みんなで目指したいですね。(社教推進 DC 木村)

